

スティーヴ・マックイーンの洗礼

Lesson

The McQueen Style

02 SHOES

© amanaimages



イギリス靴の聖地の老舗の味わい

素朴で堅牢な伝統的靴作りを続け、プリンス・オブ・ウェールズのロイヤルワラントを授かっている1829年創業のトリッカーズの一足。5万4000円/Tricker's (SEPTIS)

なぜ、マッドガードというのか？ 直訳

タートルネックセーターの上にエルボーパッチ付きのツイードジャケットを着る。左胸にはアッブサイドダウンのホルスター、そこに銃口を上に向けて納まっている銃はコルト・ダイアモンドバック。左には予備弾丸。そして、スエードのマッドガードシューズ。もちろん、『ブリット』（1968年）だ。この映画ではサンフランシスコの市内でのカーチェイスが記憶に深く刻まれているが、絶妙なレングスのステンカラーコートと件のツイードジャケットに加え、このシューズのカッコいい履きこなしにヤラれた男は数知れない。チャッカブーツなのにソールが気になる。底が気になる。そこが気になる。

このシューズは「ブリット・チャッカ」と呼ばれることがあるが、それ以前から「レイボーイ・チャッカ」という通称があった。名前の由来は「夜中にガールフレンドを誘い出すときに家族に知られないよう足を音がしない靴」という説がある。デザートブーツの音がしないのに、この名前が冠されたのは、ただ、男前の靴だったからに違いない。ステイヴ・マックイーンがプライベートでも愛用したのは、だから、当然だったわけだ。



旧名称「Play Boy CHUKKA」、伝統の一足で忍び足

正式名称は「HI-Top CHUKKA」。英国の著名なタンナー＝チャールズ・F・ステッド社の上質なスエードを使用しており、色落ちもしにくく耐久性に優れている。4万6440円/SANDERS (GLASTONBURY SHOWROOM)



スポーティでありながらドレッシーの顔を持つ二足



その名も遊伍、チャッカブーツの登場！

三陽山長史上初のマッドガード製法。アーチサポートインソールを採用し、コンフォータブルな履き心地を実現。フカフカとスニーカー感覚で履ける。4万1040円/SANYOYAMACHO (SANYOYAMACHO GINZA)



マックイーンに切り切る一足

東京八王子を本拠に置く「Gozovation」オリジナルの一足。現存するブーツの中でマックイーンが履いていた「マッドガード」に最も近い一足（数量限定・2色展開）。各4万6000円。さらに同社では現在、「吟付きスエードの上等な革を使った裏革のない1枚仕立て」のマッドガード・ブーツの製作にも挑んでいる（Gozovation）

